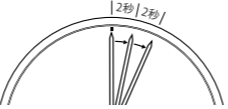


ご使用にあたって				
<b>充電時間</b>				
環境	晴天	くもり	デスク蛍光灯 20cm下	室内照明
明るさ (ルクス)	100,000	10,000	3,000	700
通常の動く状態を1日保持できる	3 分	12 分	38 分	150 分
時計が停止してから安定して動くまで	40 分	2.5 時間	6 時間	60 時間
時計が停止してからフル充電まで	7.5 時間	30 時間	90 時間	—
フル充電からのおおよその駆動可能時間	4 ヵ月 ~ 6 ヵ月			

充電環境	
○	晴天 (直射日光)
△	くもり、屋内窓辺、デスク蛍光灯20cm下、室内照明
×	引出し、裏返し、暗所

### 充電不足お知らせ機能

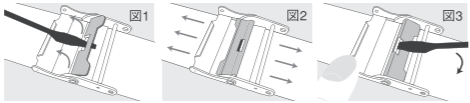
秒針が2秒遅針して充電不足をお知らせします。このときも時計が正確に動いていますが、2秒遅針をはじめて約2日間で時計は停止します。光を当てて充電し、1秒遅針に戻してください。



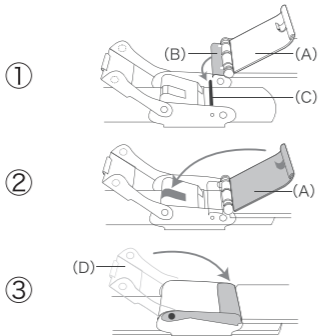
【くみひもの場合】  
まずベルトを時計の裏面に当てます。その上からイージーレバーを2本時計本体に装着してベルトを抑えてください。

※イージーレバーは弊社オンラインストアで購入もできます。(2本セット/330円)

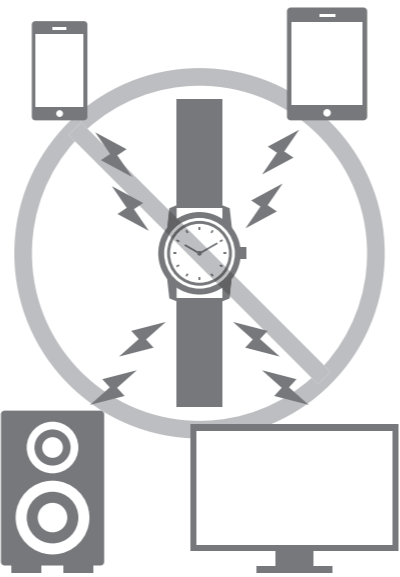
【メッシュベルトのサイズ調整】  
小さなマイナスドライバー (または同じようなもの) を図1のように留め具の穴に差し込み、留め具を持ち上げます。その後留め具をスライドさせ (図2) お好みの位置でベルト裏側の溝と金具の溝を合わせた状態で指で押さえます。押し上げた時と同様にドライバーを穴に差し込み、テコの原理で押し戻します (図3) ※溝にしっかりととはまっていない場合や、上記以外の方法で無理に押しすると破損の恐れがございますのでご注意ください。



【メッシュベルトの留め具のつけ方】  
①12時側の金具 (A)の裏側にあるフック(B)を留め具の内側の棒(C)にかけます。※B,Cをきちんと引っ掛けないと落下した破損の原因になります。②棒にかけられた金具(A)をかぶせます。金具をかぶせると裏側のフックが重なり固定されます。③その後反対側の安全金具(D)をかぶせ、完了です。



**磁気帯びについて**  
時計は超小型ステッピングモーターに磁石を使用しています。その為、携帯電話、パソコン、テレビ、ステレオ、スピーカー、電動マージャン台、その他電化製品やマグネット類などにより磁気帯びすると、一時的に時計が止まったり、時間が遅れたり、進んだりすることがあります。磁気抜き(脱磁)を含め機械内部の総合的な点検や調整を行う必要があります。磁気帯びにつきましては保証の対象外となりますのでご注意ください。



**Knotオリジナルボックスについて**  
お買い上げ時に時計とベルトが収納されているKnotオリジナルボックスは、修理品のご送付の際に、ご使用いただくボックスですので、大切に保管いただけますようお願いいたします。Knotオリジナルボックス以外でご送付された際に発生した破損・故障などに対しては保証致しかねます。予めご了承ください。



**■防水について**  
□日常生活防水 (3気圧、5気圧) は日常生活での汗や洗顔時の水滴、にわか雨などに耐えることのできる程度の防水機能です。水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。  
□日常生活強防水 (10気圧防水) はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないで下さい。直接蛇口から水をかけることは避けて下さい。水道水は非常に水圧が高く、日常生活強防水の時計でも防水不良の恐れがあります。  
□浸水の原因となりますので、ご使用する前にリュースがしっかりと押し込まれていることを必ずご確認ください。  
□水分のついたままリュースを回したり、引き出したりしないでください。時計内部に水分が入る場合がございます。  
※誤った使用による水入りの修理に関しましては保証期間内でも有償になります。

**■平均月差について**  
気温5℃～+50℃において腕に着けた場合、平均月差は±15秒～20秒となっています。

**■保管について**  
□電化製品、パソコン、AV機器、携帯電話などの磁気を発するものや、静電気の影響のあるところには近づけないでください。強い磁気が発生する場所に長時間放置しますと部品が磁化し、故障の原因になることがあります。磁気抜きは保証期間内でも有償となりますのでご注意ください。  
□5℃以下及び50℃以上の環境では機能が低下したり、停止したりする場合がございます。またこのような場所に放置しますと故障の原因となる場合がございますのでご注意ください。  
□強い振動のあるところに放置しないでください。  
□極端に埃の多いところに放置しないでください。  
□温泉や防虫剤と入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。  
□日当たりの良いところや強い光のあたる場所に長時間放置すると文字盤が変色する場合があります。文字板の変色は保証対象外となりますのでご注意ください。  
□薬品の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置しないでください。

**■その他の注意事項**  
【日頃のお手入れ】  
□ケース、ベルトは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくと錆びて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となることがありますので、常に清潔にしてご使用ください。  
□時計を外した時は、柔らかい布等で汗や水分を拭き取るだけケース、ベルト及びバッキンの寿命が違ってきます。  
【風防 (ガラス) について】  
ケースに強い衝撃を与えると少しのケースの歪みで風防が割れる恐れがございますのでご注意ください。  
【金属ベルトについて】  
時々柔らかい歯ブラシ等を使い、石けん水で部分洗いななどのお手入れをお願いします。その際に時計本体に水がかからないようご注意ください。  
【レザーベルト】  
レザーベルトは全て天然革製品のため、「しわ」や「シボ」があるものでございます。これらは天然製品ならではの風合いで、傷とは異なりますのでご了承ください。レザーベルトは水分を含むと色落ち等変化する場合があります。またレザーが硬化し亀裂が入りやすくなりますので使用後はやわらかい布等で拭くことをお勧めいたします。ご使用により発生した変色や劣化、キズ等の外見の変化は保証対象外となりますのでご了承ください。衣服等への色の付着は一切の責任を負いかねますのでご注意ください。

### TSC-39のご使用方法

**■時刻の設定**  
アラーム機能を正しくご使用頂く為に、アラーム小時計と基本時計が正しく同期しているか確認頂き、表示にズレがある場合は「アラーム小時計の同期設定」を行って下さい。

・時分針  
基本時計の秒針(9時位置)が「0秒」になったら、リュウズを③の位置に引き出し時計を止めます。

基本時計を時刻合わせ操作にて現在時刻から1～2分ほど進めた時刻にします。  
※設定に1～2分要する為、少し先の時刻にしておきます。

・アラーム小時計の同期設定  
Bボタンを押して、アラーム小時計の時刻を先ほど1～2分進めた基本時計の時刻と同じにします。

現在時刻と基本時計が同じ時間になったらリュウズを①まで押し込んで終了です。  
※同期設定の際は、基本時計の秒が「0秒」を表示の際に行ってください。

※「0秒」以外の表示で行った場合、アラームの鳴動にズレが生じます。

※以下の操作を行った場合や時計の状態の場合、同期設定が必要となります。  
【ストップウォッチ基準位置合わせ、システムリセット、時刻合わせ・充電不足などで時計の止まりがあった場合、時計への衝撃・磁気の影響などにより基本時計・アラーム時計の時間ズレがあった場合】

**■日付の設定**  
リュースを②の位置まで引き出し、時計回りに回転させ日付を設定してください。日付を設定後にリュースを元の位置に戻すと日付の設定が完了となります。※午後9時から午前1時の間日付が変わる仕組みのため、この時間帯を避けて調整してください。



**【P (イオンブレーティング)】**  
ご使用状況や保管状況 (過度の日光や紫外線、湿気が多い場所、薬品等の影響) により変色する恐れがありますのでご注意ください。

**■かぶれやアレルギーについて**  
□かぶれやすい体質の人の体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。かぶれの原因として、以下のことが考えられます。  
・金属、皮革に対するアレルギー  
・時計本体及びベルトに発生した錆び、汚れ、付着した汗等  
□万が一別異常が生じた場合は、直ちに使用を中止、医師にご相談ください。

**■その他、携帯上ご注意ください**  
□ベルトの着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。  
□転倒時や他人との接触において、時計の装着が原因で思わぬ怪我を負う場合がありますのでご注意ください。  
□特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることで怪我を負ったり、アレルギーによるかぶれを起こしたりする場合がありますので十分にご注意ください。

**■電池についてのお願いとご注意**  
この時計には、一般の酸化銀電池とは異なる専用の二次電池を使用しています。二次電池とは、乾電池やボタン電池のような使い捨ての電池とは異なり、充電と放電をしながら繰り返し使用可能な電池です。長期的な使用や使用環境により、容量や充電効率が少しずつ低下する場合があります。また、長期間使用すると、機械部品の磨耗や汚れ、潤滑油の劣化等によって持続時間が短くなる場合があります。性能が低下し始めたら修理にお出ください。

**過充電防**  
フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。

**【警告】**  
・二次電池は取り出さないでください。  
・二次電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、時計販売店にご依頼ください。  
・一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などのおそれがあります。  
・充電の際、撮影用ライト、スポットライト、白熱ライト (球) などに、近づけ過ぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受けるおそれがありますのでおやめください。  
・太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となり故障の原因となる場合がありますので、おやめください。  
・時計が50℃以上にならないようにしてください。

**■保証規定**  
この時計は下記の保証規定により保証いたします。  
1. お買い上げ後1年間の保証期間内に、取扱説明書に沿った正常なご使用状態で、万が一不具合が生じた場合には、無料で修理・調整いたします。保証の対象部分は時計本体 (ムーブメント) です。それ以外は保証の対象外です。

**■アラーム時刻の設定**  
リュースを②の位置まで引き出し、ボタンBを押してアラーム時刻を設定してください。ボタンBを押し続けると早送りします。アラーム時刻を設定後にリュースを元の位置に戻すと完了となります。  
※合わせない時刻を過ぎてしまった場合、さらに進めて合わせてください。  
※ボタンBを押し続けると、基本時計の時刻で針が停止して「アラーム設定なし」の状態になります。  
※アラーム小時計に午前・午後との区別はありません。

**■アラーム音を止めるには**  
・設定したアラーム時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続けます。  
・アラーム音を止めるにはボタンAまたはBを押してください。  
※ストップウォッチ針が動いているときは、通常のアラーム音と異なりますが故障ではありません。  
※アラーム音が鳴っているときにボタンAまたはBを押すとアラーム音が止まりますが、ストップウォッチの操作はできません。アラーム音が止まった後にストップウォッチの操作を行ってください。

**■アラーム時刻の設定を解除するには**  
設定したアラーム時刻を解除したいときは、アラーム時刻を基本時計と同じ時刻に合わせなおしてください。

**■アラーム音の試験について**  
リュースを②の位置まで引き出し、ボタンAを長押し (約4秒) すると、押し続けている間アラーム音の試験ができます。

**■ストップウォッチ機能について**  
1 / 5 秒単位で最大60 分まで計測できます。60 分計測後は、0 分0 秒位置に針が停止し計測がリセットされます。



2. 次のような場合には、上記の保証期間内あるいは保証対象部分であっても有償修理になります。  
(a) 誤ったご使用や、不注意による故障または破損。  
(b) 火災、水害または地震など、天災地災による故障または破損。  
(c) 不当な修理や改造による故障または破損。  
(d) ご使用中に生じる外観上の変化。(ケース、ガラス。リュースの小キズ等)  
(e) 本保証書に販売店印、お買い上げ年月日の記載が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。  
(f) 本保証書のご提示が無い場合。

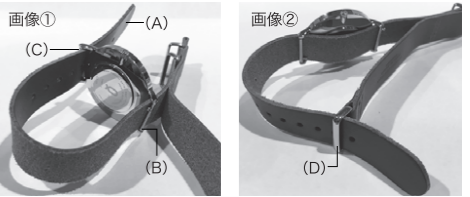
3. 修理のとき、ムーブメントを交換させていただいたり、ケース、文字板、針、ガラス、バンドなどに、一部代替品を使用させていただく事もありますので、ご了承ください。

4. 本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料で修理をお約束するものです。保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

**■ベルトの取り扱いについて**  
【セパレートタイプの装着方法】  
ベルトには、イージーレバーが内蔵されておりです。(下図参照)。ベルトが短い方を12時側、長い方を6時側に装着します。時計本体、ベルトを裏返し、レバーがある方の反対側①から時計本体に差し込みます。



**【引き通しタイプの場合】**  
まず付属のイージーレバーを2本、時計本体に取り付けます。(画像①) 長い方のベルトの先端(A)を時計の12時側のケースとバネ槽の間(B)から通し、同様に6時側(C)にも通します。(画像②) 長い方のベルトをもう片方の金具(D)に通し、しっかりと引っ張ります。



**■ストップウォッチ針 (1 / 5 秒・分) の基準位置を合わせる**  
ストップウォッチをリセットしてもストップウォッチ針が0 分0 秒位置に停止しないときは、基準位置がずれていることが考えられます。ストップウォッチ針 (1 / 5 秒・分) の基準位置は、それぞれ「0秒・0 分」です。基準位置を合わせることで、正しい計測結果が表示されます。基準位置がずれる理由として、以下のことが考えられます。  
・強い衝撃を受けたとき : 落とす、強くぶつけるなどの衝撃によってずれることがあります。  
・磁気の影響を受けたとき : 磁気を発するものに近づけることでずれることがあります。  
※ ストップウォッチ針の基準位置合わせを行うと時刻がずれます。基準位置合わせを行ったあとは基本時計とアラーム小時計の時刻を合わせなおしてください。

①時計が動いていることを確認してください。  
秒針が1秒ごとに遅針していることを確認してください。2秒ごとに遅針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。  
②リゅうずを2段引きます。  
秒針が止まります。  
③ストップウォッチ分針が動くまでボタンAを押します(3秒) ストップウォッチ分針が1回転し、「ストップウォッチ分針」の基準位置合わせモードに入ります。  
④ボタンBを押します。  
ストップウォッチ分針を「0分」にする。  
1分送り→1回押して離す。  
連続送り→2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まる。  
※「0分」の場合は、⑤の操作へ  
⑤ストップウォッチ 1 / 5 秒針が動くまでボタンAを押します(3秒) ストップウォッチ 1 / 5 秒針が1回転し、「ストップウォッチ 1 / 5 秒針」の基準位置合わせモードに入ります。  
⑥ボタンBを押します。  
ストップウォッチ 1 / 5 秒針を「0秒」にします。  
1 / 5 秒送り→1回押して離します。  
連続送り→2秒以上押し続けると動き出し、離すと止まります。  
※「0秒」の場合は、⑦の操作へ  
⑦リゅうずを押し戻します。  
ストップウォッチ・アラーム小時計を合わせます。  
基準位置合わせを行うと基本時計とアラーム小時計の時刻がずれます。基本時計とアラーム小時計の時刻を合わせたら操作は終了です。

**■万が一、充電しても動かない、または異常な動きになったとき**  
万が一、十分に充電しても動かないときや1秒遅針にならないとき、または異常な動きになったときは、次の操作を行うことで正常に機能するようになります。

**■システムリセットをしてください。**  
①リゅうずを2段引きます。  
秒針が止まります。  
②ボタンA、Bを同時に3秒押します。  
③リゅうずを押し戻します。  
秒針が動きはじめます。秒針が2秒ごとに遅針をしているときは、1秒ごとの遅針になるまで十分な充電をしてください。  
④ストップウォッチ針(1 / 5 秒・分) の基準位置を合わせた後 時刻・日付を合わせる



ソーラーウォッチ  
取扱説明書

Maker's Watch Knot

【カスタマーサービス】  
TEL.0800-555-7010 FAX.0422-27-6848

https://knot-designs.com/